

「夏は往く」

県立神戸高等学校長
新谷 浩一

○ いろんな顔と出会うことが、そもそも幸せなのです

先週は8月10日の山岳部の話で終わりましたが今回はその翌日の話からです。私は朝から総合運動公園へ。第97回神戸・兵庫・長田対抗陸上競技大会の開催日です。県教委で働くようになる直前まで何度も通った陸上競技場。グラウンドに入ると、長い間お世話になった方々との久々の再会です。これはとても嬉しい時間でした。なお、今年は本校がホスト校ということで開会挨拶を任された私はこう話しました。

僕も中学校、高校と陸上競技をしていました。教員となつてからは長年、顧問として陸上に関わってきましたので、審判をしてくださる先生方の顔を見回すと胸の高鳴りを感じます。それはなぜか。ともにアスリートとして戦い、その後にはともに高校生のアスリートを支えてきた歴史があるからです。

いつもなら全県から多くのアスリートが集まる会場を、今日は皆さんたちだけで独占して使うことができます。いい記録をめざすことはもちろんですが、こんな特別な1日がいままで記憶に残るように自身の力を尽くすとともに、交流をいっそう深めてもらえたらと願っています。それぞれがひとまわり大きく成長する1日となりますように。



この陸上競技場のこけら落としの日、私は高校3年生でした。地下鉄はまだ名谷駅までしか開通していなかったので、私たちアスリートは皆、行進をするかのように競技場まで長い道のりを歩き、会場に辿り着きました。兵庫リレーカーニバルという大会。聳える観客席からの声援がグラウンドに降り注いでいました。しかも、テレビ中継つき。高校男子4×400mRの決勝、アンカーの私はトップでバトンを受けたものの後続のランナーに抜かれます。ただただ切ない思い出です。当時のこと、久々に思い起こしましたね。

まあ、私の感慨は脇に置いておきましょう。この日、神戸高校陸上競技部員はよく走り、よく跳び、よく投げてくれました。現役アスリートでもある福田先生の走りも「さすが」の一言でした。



対抗戦は午前を終えた時点で、神戸高校がリード。午後から移動する必要のあった私はそこで競技場を離れましたが最終結果は翌日、福田先生から教えてもらいました。
昭和62年以来39年ぶりの優勝、おめでとうございます。



さて、競技場を出た私は地下鉄からJRを乗り継いで一路、姫路へ。見事にブロック予選を通過し、第73回兵庫県吹奏楽コンクールに出場した吹奏楽部の応援です。会場となったアクリエひめじでは多くの保護者の方々や吹奏楽部OBにお会いできました。

演奏、実によかったですね。結果は銀賞で次のステージには進めませんでしたが、自分が演奏しないときも身体をスイングさせる姿が印象的でした。出番を終えた直後を通路で待ち構えて撮らせていただきました。達成感に満ち満ちたいい笑顔です。



その翌週はオープンハイスクールでした。1日半の3部構成で中学生、保護者の参加希望は1400名を優に越えていました。有り難いことです。自治会メンバーの活躍を間近に見たかった私ですが、あいにくその週は月曜から金曜まですべて出張で埋まってしまいました。

それでも朝いちばんに学校に寄り、たまたま会えた自治会の生徒に「頼むな」と声を掛けました。返事は「任せてください」と一言。頼もしいですね。この日にあわせて華道部は花を飾ってくれました。花材はヒマワリ、ロシアンオリーブにスターチス。夏らしい彩りです。



とは言え、残念なことにすべての輝きに立ち会うことは物理的に不可能です。遠方の会場で行われた馬術部の全国大会にも応援には行けませんでした。だからこそ、私の知らない活躍を先生方が伝えてくれるのは有り難いことです。過日は久保先生が第44回兵庫県高等学校独唱独奏コンクールの結果を教えてくださいました。ピアノ部門では平澤芽依さんが銀賞、声楽部門では高田弥智子さんが銅賞に輝いたとのこと。この場を借りて紹介しますね。おめでとうございます。

さあ、今週号の締めは硬式野球部です。もっとも大切な夏の県予選の1回戦に立ち会えない私は、試合前日に右のような通信をつくり、野球部員にお渡ししたのですが接戦の末に敗れてしまいました。79回生のチームを応援できなかったことに悔いのある私は「次こそは」との強い思いがありました。

願い叶い、秋の県大会出場を賭けた2試合を観戦できた私は、太鼓や鍵盤ハーモニカを駆使した保護者の方々の応援に加わらせてもらいました。残念な結果とはなりましたが、手を伸ばせば届きそうなものを逃した悔しさ、忘れないですよ。



早くも9月の訪れです。この夏にさんざん光り輝いた人も、思い通りにいかなかった人も皆同じく新たなスタートラインです。いったん呼吸を整えて再び足を前に運べるよう、明日、講堂でお会いしましょう。

令和8年7月2日 特別号

「硬式野球部の皆さんへ」

県立神戸高等学校長
新谷 浩一

7月4日は神戸高校硬式野球部の1回戦。
どの部活動にも負けなくらい、一生懸命に練習をしているし、人一倍、気持ちの良い挨拶をしてくれるチーム。

しかも大勢の新入部員が集まり、
いっそう活気を増したチームなので、
明石の地まで、僕は応援に行く気まんまんでした。

しかし、7月3日から4日にかけて出張が入りました。
「どうか、9日の日に尼崎で皆さんの雄姿が見られますように」
7月4日はただただ、そう祈る日にします。
野球部、がんばれ。

